

(13) 理学部物理学科

【趣旨・目的】

物理学は、自然科学において理由付けに用いられ、自然界を理解するのに必須の学問分野です。理学部物理学科においては、物理学に関係する幅広い分野において、将来、国際的に活躍することのできる人材の育成を目指して教育を行っています。知的好奇心豊かに物理学を学び、未知の現象の発見や解明に強い興味を持ち、物理学の研究を通じて新たな価値を創造する意欲のある学生を選抜することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・ 知的好奇心豊かで、将来物理学における研究をする意欲を持つ学生
- ・ 研究を遂行するために必要な物理学の基本的知識と思考法を修得している学生
- ・ 物理学に関する数学的導出法や実験による検証法に強い興味を持つ学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
物 理 学 科	1 4 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3(2021)年4月から令和4(2022)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和3(2021)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和2(2020)年4月から令和3(2021)年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2(2020)年4月から令和4(2022)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」及び「物理基礎・物理」を履修している者
(既卒者については、該当科目を履修した者と同等の学力を有する者を含む)
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定する。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行う。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行う。

- ・ 適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。

適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科（物理・化学）の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」, 「整数の性質」, 「図形の性質」, 数学Bは「数列」, 「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
数 学 50点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」, 「整数の性質」, 「図形の性質」, 数学Bは「数列」, 「ベクトル」とする。)
物 理 187.5点	物理基礎及び物理 (「力学」, 「波動」, 「熱」, 「電磁気 ただし, 電磁誘導は除く。)
化 学 62.5点	化学基礎及び化学

- ・面接：主に物理の内容に関する議論を通して論理の展開、表現、会話力を評価し、併せて英語（大学入学共通テスト（リスニングを除く）に準じた内容）の能力を確認する。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に理学部物理学科に所属します。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、入学手続き終了後にお知らせします。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）理学部物理学科の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、入学手続き終了後にお知らせします。